

あずま北小学校

かわら版

学校通信

よく考える子
思いやりのある子
たくましい子



いい顔 いい声 いい心

R7.2.4 ⑳

節分 豆まき



特別支援学級の子供たちが、自分の心にある悪い鬼を退治するために、先生が扮した鬼めがけて、新聞紙を丸めた豆を投げつけました。誰にでも「だらだら鬼」「スマホ鬼・ゲーム鬼」「わすれんぼ鬼」「ちらかし鬼」など直したいところはたくさんあります。子どもたち一人一人が自分の改善したいことを自覚するとともに、年中行事の1つである節分を楽しんでいました。皆さんの心にある鬼は何鬼ですか？

立春を過ぎ、暦の上では春になりましたが、寒い日が続いています。手洗い・うがい・マスク、睡眠、バランスのよい食事など、体調管理を行って、風邪に負けない体をつくりましょう。

4年 機織り体験



上毛かるたの「銘仙織り出す伊勢崎市」のとおり、伊勢崎市は昔から織物のまちとして栄えました。伊勢崎市では、小学校児童を対象として、市民から寄贈のあった高機（たかはた）を活用し、明治時代に全国的に有名だった伊勢崎織物の歴史と織り技術の体験学習を行っています。4年生がコースターづくりを体験しました。高機は両手でヨコ糸を作業し、両足でタテ糸を作業します。子供たちはすぐにやり方を覚え、作り上げることができました。

節分の風習もそうですが、伝統が忘れられてきている、生活の中で行われなくなってきています。我が家でも子供が大きくなってからは豆まきをしなくなりました。時代によって風習や技術は移り変わっていくのですが、学校での活動がよき日本の伝統の継承に役立てばと感じています。